

保護者 各位

富士市立東小学校
校長 若月 佳妙

令和4年度 後期学校アンケート集計結果

後期学校アンケートへのご協力、ありがとうございました。東小学校グランドデザインと照らし合わせながら、児童・保護者の皆様からいただいた結果をまとめましたので、お知らせいたします。

東小学校グランドデザインより

☆学校の目標 ()内はR4年度前期アンケートの「そう思う」+「どちらかという」と「そう思う」の割合
 学校が楽しい 100%(100%) 授業が楽しい 98%(100%) 挨拶・言葉遣い 94%(94%)
 人が困っているときは進んで助ける 96%(85%) 目標をもって努力する 96%(90%)
 自分には良いところがある 93%(83%) 先生は困ったときに相談にのってくれる 97%(92%)
 家で勉強や宿題をよくやっている 75%(79%) ICTを効果的に活用した授業 84%(81%)

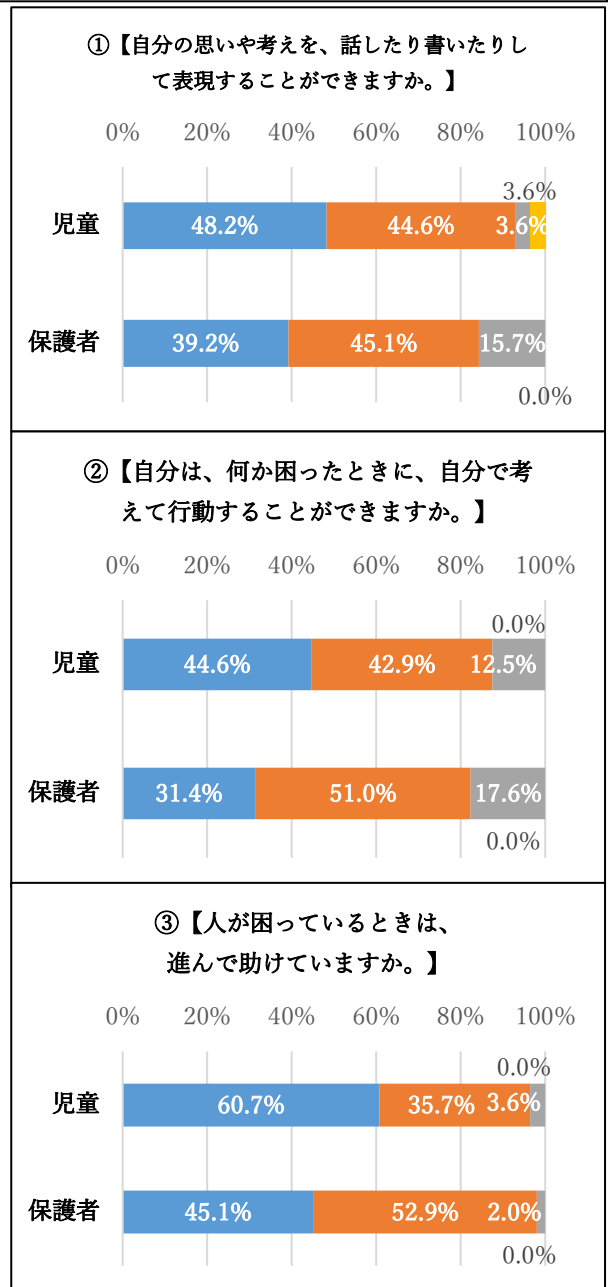
〈結果と考察〉

※グラフの水色は「そう思う」、オレンジ色は「どちらかというとそう思う」、灰色は「どちらかというとそう思わない」、黄色は「そう思わない」を表しています。

①「自分の思いや考えを、話したり書いたりして表現することができますか。」の設問に対して、前期では78%の児童が「そう思う」「どちらかというとそう思う」(以下肯定的回答)と回答しましたが、後期では92%と高い割合に改善しました。前期の結果を踏まえて、授業や行事等の教育活動では、話したり書いたりする機会を多く取り入れました。それが、子供たちの自信につながったのではないかと予想されます。これから子供たちが生き抜く社会では、理解していること、できることをどう使うかという、思考力・判断力・表現力がとても大切です。これからも自分から伝える力を育てていけるよう授業改善をしていきます。

②「自分は、何か困ったときに、自分で考えて行動しようとしていますか。」の設問では、前期20%の児童が「どちらかというとそう思わない」「そう思わない」と回答しました。東小の児童は少人数のため、教師の手が入りすぎてしまう傾向にあると考えられました。自分で「困った」「教えて」と言えるよう待つ姿勢を大事にするようにしたところ、後期は「どちらかというとそう思わない」「そう思わない」と回答した児童が20%から12.5%に減少しました。社会に出て、自分で考えて行動できる大人になってほしいので、手を出しすぎず、温かく見守りながら自立心を育てていけるようにしたいと思います。

③「人が困っているときは、進んで助けていますか。」は、96.4%の児童が肯定的回答でした。前期は85.2%で課題だったので、折に触れて重点目標『感じて動く』とはどういうことかを話しています。困っている仲間がいたときに、助けられる子供が増えた要因として、②の困ったときに言葉で伝えられるようになってきた子供が増えてきたことが考えられます。これからも、SOSを自分から出して助けを求めたり、また誰かが困っているときには手を差し伸べたりする優しさを大事にしていきたいと思います。



④「家で勉強や宿題をよくやっていると思いますか。」の設問では、75%の児童が肯定的回答だった一方で、25%の児童は「どちらかというと思わない」と答えています。決められた宿題についてはやっているものの、家での学習に自分で考えて取り組むことには課題があります。中学になると、広い範囲の内容を、自分で計画的に学習していく力が必要になります。小学校段階から、月に1,2回、自分の勉強の仕方について振り返る機会を設け、主体的に学びに向かう力をつけていきたいと思います。ご家庭での見届けも、よろしくお願いします。

⑤「食事や睡眠をしっかりとっていますか」という設問では、「どちらかというと思わない」と答えた児童は全体の14.3%でした。健康観察カードの就寝時刻を見ると22時以降に就寝していた子が多くいました。元気で学校生活を送るためには、『早寝・早起き・朝ご飯』が大切です。YouTubeやゲーム等、子供が夢中になってしまう環境は多くある社会ですが、家庭や学校の約束・ルールを守り、自分で自分の健康のために、規則正しい生活を送るようにしてほしいと思います。

⑥「読書をしていますか。」の設問では、肯定的回答をした児童は、91%でしたが、保護者は60.8%と低い結果になりました。学校図書館の貸し出しは月間平均20冊と多いのですが、アンケートの言葉に「学年に合った本」と入っているため、子供の読んでいる本と保護者の方が読んでほしい本のズレがあるかもしれないと思います。6年生の学習状況調査では、「読書が好き」という子供が多く「国語が好き」という回答に比例していました。小学校段階では、興味のある本をたくさん読むことが読書好きにつながります。読書好きになると、年齢を重ねるにつれ読書の幅も広がっていきます。東小の図書館の蔵書は多種多様になっており、マンガや絵本からも、人生を深く考えさせられるような本もあります。今月の読書月間では、親子読書の時間も設けつつ、本を通してお子さまと楽しい会話が繰り広げられるよう計画しています。また、授業参観時など学校にご来校の際には、是非図書館に足を運んでいただき、様々な本をご覧いただけたらと思います。学校と子供たちとご家庭とで、本の楽しさを共有していける東小になるといいなと思います。

日頃より、東小学校の活動を支援していただき、ありがとうございます。東小学校のホームページも多くの方に見ていただいているようで、うれしく思います。今後も子供たちの活動する様子を学校だよりや学年だより、ホームページなどでお伝えしていきます。

保護者の皆様より、「地域とともにあるあたたかい学校づくりをこれからも進めてほしいです。」「手厚く対応していただいています。」「小規模校の良さ、自分たちが住んでいる浮島地区(地域)との関わりや自然環境を生かした学びを大事にしてほしいです。コロナで変わっていることもあります。れんげ摘み、栗拾い、町探検、お茶摘、お茶もみ、米作り、焼き芋パーティー、持久走大会、仲良しグループ活動(清掃、遠足、さつまいもの苗さし、収穫等)など、今までやってきた『東小学校だからできること』を大事にしてほしいです。」「少人数のメリットを活かした目の行き届いたケアをしてくださっていると。」「すごく伸び伸び成長していて感謝しています。」等の建設的なご意見をいただきました。アンケートの記名につきましては、個別で対応していくことも考え、継続していきます。ご理解・ご協力をお願いします。保護者の皆様よりいただきましたご意見を参考に、良い点は継続し、見直すべき点は改善するよう修正し、今後もより良い学校運営を行っていききたいと思います。東小は、地域とともにある学校です。「自分が好き・学校が好き・地域が好き」な子供の育成のため、引き続き、ご支援・ご協力をお願いいたします。

